

【聖書箇所 요약】

イエス様が会堂の中にいた右手のなえた人に「手を伸ばしなさい」と命じると、手は元通りになりました。その日は安息日だったので、パリサイ人や律法学者はイエス様に敵意を燃やしました。

1. 右手のなえた人

A. 右手

- (1) 能力の源
- (2) 力と権威の象徴



B. 右手が萎えるとは

- (1) 「大丈夫」が取り外される時
- (2) 無力感や喪失感にとられる時
- (3) キリストとの出会いを体験する時

●イエス・キリストから声をかけられる人とはこのような人です。やれると思っていたのにやれなかった。大丈夫と思っていたのに大丈夫でなかった。「これから私の人生、どうしたらいいんだろうか」と力不足を感じて引っ込んでいる人。そのような人こそイエス様に出会えるのです。なぜなら、右手が動いているうちは、彼はイエス様と出会えなかったからです。右手が萎えてしまうという致命的に見える出来事がイエス・キリストと出会う接点となりました。何もかも失ったように見える時こそ、目の前にいるイエス様があなたに呼びかける時なのです。

2. 自分の本当の姿を認める

A. 彼は見られていた

- (1) 律法学者やパリサイ人の目
 - ・知っていて言わないだけ
 - ・利用価値が出てきたので彼の存在を使った
- (2) 安息日論争

B. 自分を隠す人生から現す人生へ

- (1) 「起きて、まん中に立ちなさい」(8節)
 - ・起きて → 横たわっていた
 - ・まん中 → 会堂の端の方にいた
- (2) 自分の状況を受け入れることができない
 - ・不自由な体ではダメだと思っている
 - ・知られないようにして入り、知られないまま帰りたい

●右手が動かないことを認めることは、自分のプライドが打ち砕かれることです。真ん中に出てくるということは、それを自分の手でやるということを意味します。病になり切るということは、自分自身になり切ることです。病気が治るためには「私は病気なんだ」と認めなければなりません。自分になりきって初めてそこから回復が始まります。端から真ん中へ出ることは本当の自分として生きるということです。自分以外の自分を演じてキリストに出会おうと思っても会うことはできません。こんな自分であったのか、こんなに力の無い者であったのか、こんなに欲深だったのか…。そのような自分を認めた時、イエス様との出会いがあるのです。

3. 手を伸ばしなさい

A. イエス・キリストの言葉に応答する

「『起きて、まん中に立ちなさい』と言われると、起き上がって立った。」(8節)

B. 不可能を承知でチャレンジする

「その人に『手を伸ばしなさい』と言われた。そのとおりにすると、その手は元どおりになった。」(10節)

- (1) 動くはずのない腕
・動くと思わず動かす

- (2) ギリギリの信仰

- 本当にダメだと思っていけば、彼はそもそも会堂に来てはいません。今までも何かを期待し、神の業が起きるかもしれないというかすかな希望があったからこそ、自信のない思いを抱えながら、彼は会堂の片隅に自分の身を置くというギリギリの選択をしていたのです。イエス様は彼のからし種ひと粒ほどの僅かな、しかし命ある信仰に目をとめられ、その信仰を通して癒しの奇跡を行われました。



あなたの「なえた右手」が解決されるためには、ありのままの自分を認め、イエス様にそれを差し出すことです。主はそれを待っておられます。

— 祈禱会説教 —

イエスに出会った人々シリーズ (その10)

自分になり切る

- 6 また、ほかの安息日に会堂には行って教えておられたところ、そこに右手のなえた人がいた。
- 7 律法学者やパリサイ人たちは、イエスを訴える口実を見付けようと思って、安息日にいやされるかどうかをうかがっていた。
- 8 イエスは彼らの思っていることを知って、その手のなえた人に、「起きて、まん中に立ちなさい」と言われると、起き上がって立った。
- 9 そこでイエスは彼らにむかって言われた、「あなたがたに聞くが、安息日に善を行うのと悪を行うのと、命を救うのと殺すのと、どちらがよいか」。
- 10 そして彼ら一同を見まわして、その人に「手を伸ばしなさい」と言われた。そのとおりにすると、その手は元どおりになった。
- 11 そこで彼らは激しく怒って、イエスをどうかしてやろうと、互に話し合いをはじめた。(ルカによる福音書 第6章6節～11節)
- 10 恐れてはならない、わたしはあなたと共にいる。驚いてはならない、わたしはあなたの神である。わたしはあなたを強くし、あなたを助け、わが勝利の**右の手**をもって、あなたをささえる。
(イザヤ書 第41章10節)
- 22 キリストは天に上って**神の右**に座し、天使たちともろもろの権威、権力を従えておられるのである。
(ペテロの第一の手紙 第3章22節)



2017
8 / 16
説教
丸山 芳浩 師